

ワークショップ
美術館ってどんな音——
Workshop Sound of MoMAK - Let's make "Architectural Instruments" 建築楽器

Illustration: Yasuhiro Suzuki "Aerial Being"



伝える・感じる・考える —— 制作者と鑑賞者の対話

このフォーラムでは、公開鑑賞会とディスカッションを通して、見える人と見えない人の鑑賞体験の違いについて考えます。コーディネーターは、「無視覚流鑑賞」を実践する広瀬浩二郎氏。当日午後1時から3時半までは10名の協力者が、2名のアーティストとともに作品を鑑賞・体験します。その後、見えない人と見える人の作品鑑賞について、意見交換を行います。鑑賞する作品は、石原友明氏による点字を用いた絵画と、鈴木康広氏による《空気の人》。ひとが「関わる」ことによって意味や価値が生成・変化していくこれらの作品を通して、「見る」ことだけに依らない鑑賞体験の多様性について考えてみませんか。

なお当日午後3時半以降は、来場者の方もアーティストとともに作品を体験できます。

日時 2017年12月16日[土] 午後1時-5時

会場 京都国立近代美術館1階ロビーおよび講堂

聴講 無料

定員 一先着60名(当日12時より1階受付にて整理券を配布します)

お問い合わせ 075-761-4111[代]

プログラム

公開鑑賞会+ディスカッション 13:00-15:30
テーマ「見えない人と見える人の作品鑑賞について」

石原友明「アーティスト」、鈴木康広「アーティスト」、
コーディネーター「広瀬浩二郎」国立民族学博物館准教授

鑑賞・ディスカッションには10名の方(視覚障害のある方と晴眼者に協力いただきます)。

一般鑑賞会 15:30-17:00

石原氏鈴木氏とともに、両作家の作品をさわって体験できます。となたでもご自由にお立ち寄りください(整理券不要)。

講師・コーディネーター紹介

石原友明 一いしはらともあき

1959年大阪府生まれ。京都市立芸術大学油画専攻教授。写真や点字、小説などさまざまな素材や技法を用いて、視覚芸術の根源や鑑賞体験の枠組みへの問いを投げかける作品を次々と発表している。主な個展グループ展に、「美術館で盲人と、透明人間とが、出会う」と、せよ。」「1996年、キリンラザロSKA、「美術館へのパッサージュ」1998年、板木県立美術館、「生存のエシックス」2010年、京都国立近代美術館

鈴木康広 一すずきやすひろ

1979年静岡県浜松市生まれ。アーティスト、武蔵野美術大学空間演出デザイン学科准教授、東京大学先端科学技術研究センター客員研究員。日常のふとした発見をモチーフに、誰もが知っているものや当たり前と感じていることを新鮮な感覚で捉え直す作品を制作。代表作に《空気の人》《ファスナーの船》《まはたきの葉》など。現在、彫刻の森美術館箱根にて個展「鈴木康広 始まりの庭」が開催中。

広瀬浩二郎 一ひろせこうじろう

1967年東京都生まれ。国立民族学博物館准教授。13歳の時に失明。専門は日本宗教史、触文化論。「ユニバーサルミュージアム」(誰もが楽しめる博物館)の実践的研究に取り組み。さわるをテーマとする各種イベントを全国で企画・実施している。最新刊の『目に見えない世界を歩く』『平凡社新書』など、著書多数。



WORKSHOP
Sound of Momak - Let's make "Architectural Instruments"
11 am - 2 pm, Sun. 11 Feb., 2018

美術館ってどんな音 —— つくって鳴らそう建築楽器

石や鉄、ガラスの音を聞いたことがありますか? カンカンコンコン、どんな音がするでしょう。多彩な素材であふれた美術館を、音を頼りに歩き回ります。お土産は建築で実際に使われている素材を組み合わせて作る建築楽器。建築が奏でる音を、一緒に探しましょう。

日時 2018年2月11日[日] 午前11時-午後2時の間

(所要時間は90分程度。なおグループに分かれて行きますので、集合時間は参加者に個別にお知らせします。)

会場 京都国立近代美術館

参加費 無料

定員 一先着30名(事前申込制、1月9日[火]より受付開始)小学3年生(◎以下のお子さまは、保護者の方同伴でご参加ください。)

お問い合わせ 075-761-4111[代]

プログラム

STEP1 「建築は、どんな音がしますか?」

ふだん何気なく接している壁やドア、床も、ノックしてみると、意外な音がします。どんな材料が美術館に使われているのかを、音を頼りに探しましょう。意外と知らない建築材料の世界を、専門家と一緒に巡りながら学んでいきます。

STEP2 「音だけを頼りに空間把握」

みんなで目隠しをして、周りの環境をノックしてみましよう。さっき聞いた音はありますか? 自分がどんな空間に立っているのかを、音を頼りに感じてみましょう。

STEP3 「フーン鳴らそう建築楽器」

さいごは、建築の素材を使って楽器を作ります。材料は、建設現場で使われている本物の建築の素材です。コンクリートや木、鉄を組み合わせて、自分だけの建築楽器を作ってみましよう。

ナビゲーター 本橋仁、松山沙樹(ともに京都国立近代美術館特定研究員)

協力者紹介

山田宮土理 一やまだみどり

近畿大学建築学部建築学科助教。博士(工学)。2008年早稲田大学理工学部建築学科卒業、2014年同大学院博士後期課程修了、2014年-2016年同大学創造理工学部建築学科助手、2016年より現職。専門は建築材料学。日本の伝統土壁構法に用いる壁土に関する研究をはじめ、土竹、柿渋などの天然素材の活用に関する研究を行っている。

申込方法

1月9日[火]午前10時より、メールにて受付を開始します。



感覚をひらく
新たな美術鑑賞プログラム
創造推進事業とは?

京都国立近代美術館では、「みる」ことを中心としてきた美術館での体験を問い直し、障害の有無を超えて、誰もが美術館を訪れ、経験できるようプログラムを創造・構築する取り組みを始めました。

美術館と鑑賞者が協働し、さまざまな試みに挑戦しながら、美術鑑賞の新たな可能性を探っていきます。

【実施中核館】
京都国立近代美術館

【その他の協力機関】
京都教育大学 / きょうと障害者文化芸術推進機構 / 京都市立芸術大学 / 京都府立盲学校 / 国立民族学博物館 / 三重県総合博物館(以上、五十音順)

お問い合わせ

京都国立近代美術館
〒606-8334
京都市左京区岡崎田勝寺町
TEL 075-761-4111[代]
FAX 075-771-5792
http://www.momak.go.jp

イベント当日、美術館の最寄りのバス停からの誘導が必要な方は、代表電話までお電話ください。

交通案内

京都市バス「岡崎公園 美術館 平安神宮前」下車すぐ
「岡崎公園」ロムシアター「京都みやこめっせ」下車徒歩5分
「東山」二条 岡崎公園口「下車徒歩約10分」
地下鉄東西線「東山駅」下車徒歩約10分

